

派遣報告書（報告者：佐田明美）

大会名	令和 8 年度全九州高等学校体育大会 第 79 回全九州高等学校バスケットボール競技大会
開催地	佐賀県 SAGA プラザ、吉野ヶ里町文化体育館
日時	令和 8 年 6 月 20 日（土）～6 月 21 日（日）
担当ゲーム 1	女子 1 回戦 佐賀清和（佐賀県 1 位） v s 鹿児島（鹿児島県 2 位）
クルー	CC：佐田明美、U 1：奥村麻美（宮崎県）、松浦由依（宮崎県）
Pre-Game Conference（crew）	
<ul style="list-style-type: none"> ・Mechanics の確認（3 人で見えないところをなくす） ・key MuchPlyer の確認（映像利用） ・地元チームの初戦 	
Post-Game Conference（松尾 雅・長崎県 S 級）	
<ul style="list-style-type: none"> ・誰かが判定に参加するためのメカニクスは維持できていた。 ・なぜ W コールになるのか？→Primary の理解ができていない。 ・笛を急ぎすぎると、間違っただコールにつながる。 	
担当ゲーム 2	女子 2 回戦 慶誠（熊本県 1 位） v s 佐賀北（佐賀県 2 位）
クルー	CC：石嶺良方（沖縄県 S 級）、U 1：佐田明美、U 2：山崎誠二（福岡県 B 級）
Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・目標はシングルコール。クルーの信頼関係が成り立つ。 ・留学生に対して、サイズの足りないチームがどう守ってくるのか。 ・お互い 2 試合目なので、後半疲れが見えてくると、前半には怒らなかつたことが起こる可能性がある。 ・TO と協力（ファールコール、タイマー、ショットクロックの確認）して、スムーズにゲーム運営をおこなう。 	
Post-Game Conference（CrewMeeting）	
<ul style="list-style-type: none"> ・クルーに助けられる場面が多かつた。 ・チームやゲーム運営上、本当に必要なコールだったかの振り返りが必要。 ・上級として、2 試合を吹ける体力、フィットネスが必要。 	
担当ゲーム 3	女子シード決定性 佐賀清和（佐賀県 1 位） v s 慶誠（熊本県 1 位）
クルー	CC：佐田明美、U 1：佐藤凜明（佐賀県）、中村光希（宮崎県）
Pre-Game Conference	
<ul style="list-style-type: none"> ・メカニクスの確認。エッジのプレイを誰が見るか。 ・key MuchPlyer の確認（映像利用）。留学生に対する守り方。 ・2 日間で 4 試合目となるチームの状況、戦略。 	

Post-Game Conference (秀島 充彦・佐賀県 A 級)

- ・開催県チームがよく頑張り、選手・応援・TO・審判が協力して、良いゲームを作り上げた。
- ・誰が Primary でどのタイミングでコールすべきだったのかを映像で振り返りを行う。
(Primary のペイシエントと Secondary のケイデンスが同じタイミングでなってしまう原因を探す)

今大会に参加しての感想など

約 1 年ぶりのブロック大会で準備段階から非常に緊張していました。担当させていただいた 3 試合ともが開催県チームの試合であり、大きな声援の中で、素晴らしい雰囲気での試合であり、とてもありがたい気持ちになりました。その中で、クルーとのカンファレンスで、メカニクスの確認、チームスカウティングを行い、それを遂行していくことの重要性を強く感じました。

男子の柳ヶ浦高校が決勝まで残るなど、県内のレベルも九州や全国と戦えるレベルに上がってきており、その試合を県内で吹くことができること、またその試合を担当する私たちの判定力をチームと同じように上げていくことは、喫緊の課題でもあります。大会の最後に、A 級の力がこのままでよいのか、という厳しい言葉もいただきました。私たち自身が停滞するのではなく、上級として研鑽を積み、判定力をつけていくこと、ブロック大会に出していただいた経験を県内にきちんと伝えていくことが大切だと感じます。

今回、派遣していただいた大分県協会、審判委員会の皆さま、準備・運営をしてくださった佐賀県協会、佐賀県審判委員会、大会関係者の皆さまに感謝し、報告とさせていただきます。